



学校教育目標

～ みがき かがやく 静小の子ども ～

- ◎よく考える子【知】
- ◎思いやりのある子【徳】
- ◎たくましい子【体】

重点目標

学校全体の組織的な教育活動で「未来に生きる力」を高めよう

～深い共通認識と確実な共通実践～

高めたい資質・能力

【知】

- ◎主体的に関わる力
- ◎目、耳、心で聴く力
- ◎知識を結び付ける力
- ◎考えを伝え合う力

【徳】

- ◎よりよい生活や人間関係を築く力
- ◎自律的に行動する力
- ◎規則を尊重し守ろうとする力
- ◎やりぬく力

【体】

- ◎運動の楽しさや喜びを感じる力
- ◎各種の運動に挑戦する力
- ◎自分の生活や健康を見つめる力
- ◎危険を予測し回避する力

何ができるようになるか

- 主体的に考え行動しようとする。
- しっかり話を聴き、考えようとする。
- 相違点や類似点に気付き、生かすべき点を考えようとする。
- 理解していることをもとに何ができるか考えようとする。
- 気づいたことや考えたことを多様な方法で伝えようとする。

- 笑顔で元気な挨拶や返事をしようとする。
- 相手のよさや個性を認め、協力し合おうとする。
- 道徳的な判断力・心情が育ち、行動で現そうとする。
- 善悪の判断ができ、きまりを守ろうとする。
- あきらめず、最後まで頑張ろうとする。

- 運動に親しみ、積極的に身体を動かそうとする。
- 不得意な運動にも取り組もうとする。
- 生活の中で、健康の保持増進を考え、実践しようとする。
- 自分の命は、自分で守ろうとする。
- きまりを守り、安全に気をつけて運動しようとする。

どのように学ぶか（指導の重点）

【重点Ⅰ：確かな学力の育成】

学習規律の定着と、主体的・対話的で深い学びの学習を目指す授業改善等を通して、確かな学力を育てる。

【重点Ⅱ：心の育成と生徒指導の充実】

心に響く考える道徳の授業と、子供の心に寄り添う生徒指導等を充実させ、豊かな人間性を育む。

【重点Ⅲ：健康・安全教育の充実】

体力向上メニュー等を継続させ運動技能を高めるとともに、日常生活における健康・安全に気づかせ、実践力を培う。

子供の成長をどのように支援するか

【キーワード】

授業改善 児童理解 情報共有 連携 CS（コミュニティ・スクール）

——充実した学級経営——

【支持的風土】 【教師と子供の信頼関係】 【確固たる学習規律】 【落ち着いた教育環境】